

2011年から2020年に川崎医療福祉大学へ入学した皆さんへ

「医療系大学生における麻疹・風疹・ムンプス・水痘に対する抗体保有率の年次推移と小児期の同感染症流行の関連について」の調査研究にかかるご協力をお願い

研究責任者 川崎医科大学公衆衛生学 講師 依田 健志

1. 研究の概要

麻疹・風疹・ムンプス・水痘はいずれも小児期に罹患しやすい代表的な感染症であり、いずれもワクチンにより予防可能な疾患(Vaccine Preventable Diseases:VPD)としても有名です。これら4種の感染症は、特に集団生活を行ったり、病院や介護施設等での実習が見込まれる医療系大学においては、感染拡大防止の点から予防が極めて重要になります。そのため、川崎医療福祉大学においても、2008年より4種の感染症に関し、入学時に抗体価の検査を行い、同時に小児期にこの4種の予防接種をしたかどうかについても母子手帳を確認してもらい、記録を残しております。一般的に、小児期の予防接種後、長期間ウイルスに曝露することなく過ごしていれば、抗体価が低下することが分かっています。

川崎医療福祉大学で保管している4種抗体価の測定値と、小児期の予防接種実施記録から、各年度の抗体価の平均値や、予防基準を満たさない抗体価低値の人数や割合について、年次推移を求めることができます。これらについて、小児期に4種それぞれの感染症がどの程度流行していたかという、国立感染症研究所が公表している感染症動向調査記録を重ね合わせることで、予防接種や感染症の自然流行が長期的な抗体価や抗体保有率にどういった影響を与えるか検討可能になるため、本研究を計画しました。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2011年度～2020年度に川崎医療福祉大学に入学し、1年次に健康診断を受けて4種抗体価検査を行った方約13000名を研究対象とします。

2) 研究期間

2021年11月1日～2024年12月31日

3) 研究方法

2011年度～2020年度に川崎医療福祉大学に入学し、1年次に健康診断を受けて4種抗体価検査を行った方で、研究者が健康記録及び抗体価に関する情報をもとに入学時年齢、性別、小児期の予防接種の有無（有の場合接種回数と接種年月）、4種抗体価検査結果についてのデータを選び、皆さんが小児期であった頃に実際4種の感染症がどれくらい流行していたかに関する公表データ（国立感染症研究所：感染症発生動向調査年別報告数一覧）と照合し、相関分析を行い、長期間の抗体価推移について疫学的に調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：入学時年齢、性別、4種抗体検査結果、小児期の4種ワクチン接種の有無、罹患記録等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学公衆衛生学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その

他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年12月1日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も学生生活や病院受診時の診療などにおいて皆さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 公衆衛生学

氏名：依田 健志

電話：086-462-1111 内線 44559（平日：8時30分～17時30分）

ファックス：086-462-1199

E-mail：tyoda@med.kawasaki-m.ac.jp

<共同研究機関>

川崎医療福祉大学健康管理センター

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。